

生活



英王立マースデン基金のチャリティー公演で柔らかな音色を響かせる平井さん=11月、東京都中央区の浜離宮朝日ホール



鈴木大使(中央)と平井さん(右)=2月、コペンハーゲンの在デンマーク日本大使公邸

本県ゆかり 平井元喜さん

本県ゆかりのピアニストで英国を拠点に活動する平井元喜さん(四五)は今年、英国、日本をはじめデンマーク、イタリア、中南米、フィリピン、東アフリカを回り、柔らかな音色を届けた。東日本大震災の復興支援や平和、環境、教育、医療など幅広い分野でのチャリティーピアノ演奏にも力を入れている。さまざまな垣根を越えて音楽の喜びを伝え、感動を呼んでいる。

平井さんは広野町ゆかりの童謡「とんぼのめがね」などで知られる作曲家の故・平井康三郎さんの孫。慶應大学文学部を卒業後、英国王立音楽院大学院ピアノ科を修了し、世界で多彩な音楽活動を繰り広げている。二〇一四年からは英ヴィリ

アム王子が会長を務める英王立マースデンがん基金と協力し、がん医療・研究発

展のための募金、がんと闘う世界の子どもや家族を音楽で励ます慰問・招待演奏、寄付に取り組んでいる。

日本大使公邸で開かれたク日本大使公邸で開かれた日本・デンマーク外交関係樹立百五十周年記念コンサートに出演した。平井さんが芸術監督・プロデューサーとして主導する国際文化交流・教育プログラム「音楽と民話で世界をつなぐ」

世界に届ける感動のピアノ

日、英、デンマーク…復興や交流、患者支援

自作の組曲「伝説の詩」をはじめベートーベン、シューベルト、ショパンらの曲を披露した。それに先立つロンドン公演にはマースデン病院の患者や家族が来場し、鶴岡公二駐英大使夫妻も出席した。

平井さんは「チャリティ演奏を通じて、いつも命の尊さ、家族感謝、笑顔、ポジティブに生きることの大切さや健康のありがたみを感じ」と語る。震災復興の支援活動とも共通する。日本と世界の交流推進にも貢献している。二月にコペンハーゲンの在デンマーク大使公邸で賓客をもてなす際には必ず福島県をはじめとする人音楽家による演奏会も催された。鈴木大使は「公邸で賓客をもてなす際には必ず福島県をはじめとする人音楽家による演奏会も催された。鈴木大使は「公

爵の一環。朗読、音楽、映像とともに和歌や民話、絵本など日本とデンマークの文

一環で、福島ゆかりの邦

とたたえた。

三月十一日にはコペンハーゲンで、福島ゆかりの邦

人と世界を音楽でつなぐこと

ができるうれしい」と話

している。

◇
◇
◇
◇

平井さんは復興支援のため一昨年七月に須賀川市、今年四月に福島市を訪れ、演奏などを披露した。祖父の康三郎さんは須賀川市歌や須賀川三中校歌などを作曲した。